

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年 3月

1. 対象事業	甲府市合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	甲府市
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度
4. 対象事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none">平成25年度で下水道事業における対策を全て実施済み。進捗率100%
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>【目標の達成状況 今回値/目標値】</p> <ul style="list-style-type: none">①汚濁負荷量の削減 115.0 t/年/117.8 t/年 100%②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数） 65回/年/120回/年 100%③夾雑物の削減（対策を講じた雨水吐の箇所数） 4箇所/4箇所 100% <p>【達成の見通し】</p> <p>実施済みの対策により目標値を達成している。</p>
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none">スクリーンの設置により、未処理下水がスクリーンを介して公共用水域に放流されることとなり、放流されていた夾雑物が除去され、降雨終了後の放流先水域における景観が改善された。
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none">国土交通省が推進した下水道技術開発プロジェクト『SPIRIT21』の簡易処理の高度化施設を採用し、住吉ポンプ場に導入した。また同じく『SPIRIT21』の夾雑物除去装置（スクリーン）を各雨水吐室に設置した。簡易処理の高度化施設方式は、別案の雨水滞水池方式に比べて経済的である。また、新たに当該施設を建設することで、更新時期を迎えた既設の雨水沈殿池の更新を実施する必要がなくなり、更新事業費の削減にも寄与した。一部の雨水吐を廃止し、夾雑物対策施設の設置箇所数及び設置費を削減し、事業の効率化を図った。
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none">簡易処理の高度化施設において、より汚濁負荷量の削減を図るための運転の管理に努める。